

令和5年度 学校自己評価システムシート（私立 立教新座高等学校）

目指す学校像：キリスト教に基づく人間形成を實踐し、自由と自律を尊重する開かれた学校を目指す。 達成度：A ほぼ達成（8割以上） B 概ね達成（6割以上） C 変化の兆し（4割以上） D 不十分（4割未満）
 重点目標：1 興味や関心を伸張して、自主的にテーマを持って真理を探究する力を養う。 学校関係評価：学校関係者 9名 生徒 0名 事務局（教職員）4名
 2 グローバルリーダーにふさわしい国際感覚を備えた人物を育成する。
 3 他者を尊重し、学校生活を通じて共に成長する他愛に満ちた人格を育む。

学 校 自 己 評 価					学校関係者評価	
年 度 目 標			年 度 評 価（ 3月31日 現在 ）		実施日2024年6月10日	
番 号	課 題	課題に対する取り組み	達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	・一貫連携教育の充実	・立教大学教員によるプログラムの継続と充実 ・特別聴講生制度・GLP受講制度の継続と充実 ・立教大学の各種キャリア教育プログラムの充実	・高1立教大学説明会、立大教員による特別授業 ・高2、高3学部学科説明会実施 ・立教大学特別聴講生17講座(14名)、GL101科目(24名)受講 ・大学キャリアセンターの協力を得て高1キャリア教育、キャリア教育講座（全5回）の実施 ・一貫連携教育推進室の協力を得てビジネスデザイン研究所「夏の学校」ワークショップ実施	B	・各種プログラムの継続と充実 ・参加者増加に向けての案内の工夫	・立大教員による特別授業についてはより適当な実施時期になるよう検討してほしい。 ・高2と高3での学部学科説明会は進学の準備が出来て良い。 ・他大学への推薦枠の説明をしてほしい。 ・新座、池袋間の教員交換は、学校及び一貫連携の充実のためにも必要と思う。
	・卒業論文指導	・問題発見や課題解決、表現などの指導 ・指導や評価についての検討	・学院各校との協議を経て卒業研究論文の評価を含む高大推薦制度の一部改訂		・卒論関係講座数の確保、指導や評価のあり方について教務部や教育検討委員会等で継続審議	・卒論に取り組む意図や必要性については生徒たちに継続して説明してほしい。 ・状況に応じた制度改定、新制度の取り入れ等で生徒の意欲向上に繋がることを期待する。
	・教職員研修	・研修への参加奨励	・教科、部署、部活動等における研修に参加 ・人権教育推進委員会主催講演会「SOSの受け止め方～生徒と教師の心を守るために～」受講 ・ハラスメント防止対策委員会主催講演会「部活動におけるハラスメント防止 生徒の自律性・主体性を育むコーチング」受講 ・学院主催のハラスメントに関するオンライン研修（3回）、内部公益通報の取扱いに関するオンライン研修受講 ・応急処置研修会、心肺蘇生法実習の実施		・研修の充実 ・研修を受けやすい環境の整備 ・非常勤講師を含む教職員全体に対する研修への参加奨励	・研修を受けやすい環境の整備は望ましい。指導力の向上が図られていて評価できる。 ・教職員のSOSを受け止める必要性を強く感じる。 ・教職員へのケアにより職場環境が整備され満足度の高い教育に繋がることを望む。 ・実施している各種の講習会は、時代のニーズに合致した取組であり継続を望む。 ・学院主催のハラスメント研修は非常勤勤務員も受講の徹底を望む。
	・教育環境の整備	・ICT機器を活用した教育活動の充実 ・教務新システムBLENDへの移行 ・ICT環境の整備 ・各施設・設備・安全および老朽化対策	・BYODによる端末準備を推進し、ICTを活用した教育活動を展開 ・定期試験答案のデジタル返却試行 ・教務新システムBLENDを利用した通知表のデジタル開示、メール配信の試行 ・ICT環境の整備(本館・3号館ネットワークコアスイッチ更新) ・施設・設備・安全及び老朽化対策(3号館避難器具交換、体操場競技用床改修、体育館床メンテナンス、野球場簡易整備、本館及び体育館照明LED改修、セントポールズフィールド日除け設置、窓ガラス飛散防止フィルム貼付、構内バスロータリー側道拡張工事、東北通り沿い外柵塗装)		・新教務システムBLENDの利用拡大 ・出席簿のデジタル化 ・配布資料のペーパーレス化 ・ICT環境の整備(基幹サーバー更新、PC教室3・4・5更新、図書館システム更新) ・施設・設備・安全及び老朽化対策(野球場簡易整備、セントポールズ内部室及び野球部部室空調設置、セントポールズフィールド改修【公認継続による】)	・BLENDによる情報配信は、情報が一覧で残るためとても良い。保護者への伝達手段として高く評価できる。紙で配布したのもBLENDで配信してほしい。 ・LED化の前と後の料金の比較し、生徒に周知して身近な材料で環境問題、SDGSへの関心を誘えるといい。 ・老朽化施設の対策がなされ、安全面の対応がなされていることは評価できる。
2	・人権教育やボランティア活動	・人権教育の充実 ・ボランティア活動の奨励、機会の提供 ・いじめ・ハラスメント問題の啓蒙活動 ・いじめ防止対策の充実	・人権週間(6月)に各学年担当者がチャペルアワーで講話 ・学年ごとにテーマを決め人権教育実施(1学期末、高3のみ2学期) ・いじめアンケートを年2回実施 ・教職員人権研修、ハラスメント防止研修実施	B	・人権教育の継続 ・実施可能なボランティア活動の機会提供 ・いじめ・ハラスメント問題の認識深化に向けた啓発活動	・人権教育は高く評価できる。家庭と共有することでより深められることが出来ると感じた。 ・いじめ防止の啓発活動には力をいれてもらいたい。生徒の変化やアンケート実施で早期に把握し、適切に対応されることを望む。
	・情報リテラシー教育	・インターネットの安全な利用やマナーの指導	・全学年、外部講師による講習会を実施 ・保護者対象の講習会を実施		・講習会の継続	・SNSの利便性と危険性をしっかりと伝えてほしい。講習会の継続を望む。
	・グローバル教育 ・リーダーシップ育成	・本校のグローバル教育の推進 ・派遣留学校及び留学生受入校との良好な関係維持 ・リーダーシップ教育の充実	・留学生(長期:米国、短期:英国2名)の派遣 ・英国サマースクール、・ブリティッシュヒルズ英語研修、理科海外研修旅行、宗教科海外研修旅行の実施 ・高1,2学年、文化部・体育部でリーダーシップ研修実施 ・リーダーシップ育成PT主催による講演会実施 ・高2校外研修旅行における高1への発表活動		・派遣留学校の維持・充実 ・留学生受け入れ	・様々な取組があり評価できる。 ・部活動の制限がなく、より多くの生徒が参加できるような体制作りを望む。 ・息子から留学生の話聞き、興味深く感じていると実感した。積極的な受け入れを継続してほしい。 ・研修の効果や訴求力を確認できるような取り組みの検討を望む。
3	・学校生活の支援	・学友会活動のサポート ・多様な進路に対する支援 ・スクールカウンセラーとの連携 ・特別支援教育の充実 ・学校活動の可視化	・高1,2学年キャリア教育実施 ・生活のアンケートを各学期に実施。心配な生徒についてはその後担任面接、さらにはスクールカウンセラー等の面接実施 ・特別支援教育委員会主催の教職員向け講演会を実施 ・特別支援対象の生徒のスクリーニングの実施 ・広報誌のweb化 ・Facebook、Instagramの充実	B	・保護者会や同窓会との連携強化 ・広報活動の継続と充実	・高1のキャリア教育は早い時期に進路を考える機会となっていて高く評価する。 ・学友会各部活の紹介ページはわかりやすくて良い。 ・SNSによる学校活動の可視化は、学校への理解も深まり高く評価する。 ・保護者会の実施は、学校生活の様子を把握でき安心感にも繋がっている。